

小水力発電事業の協業開始

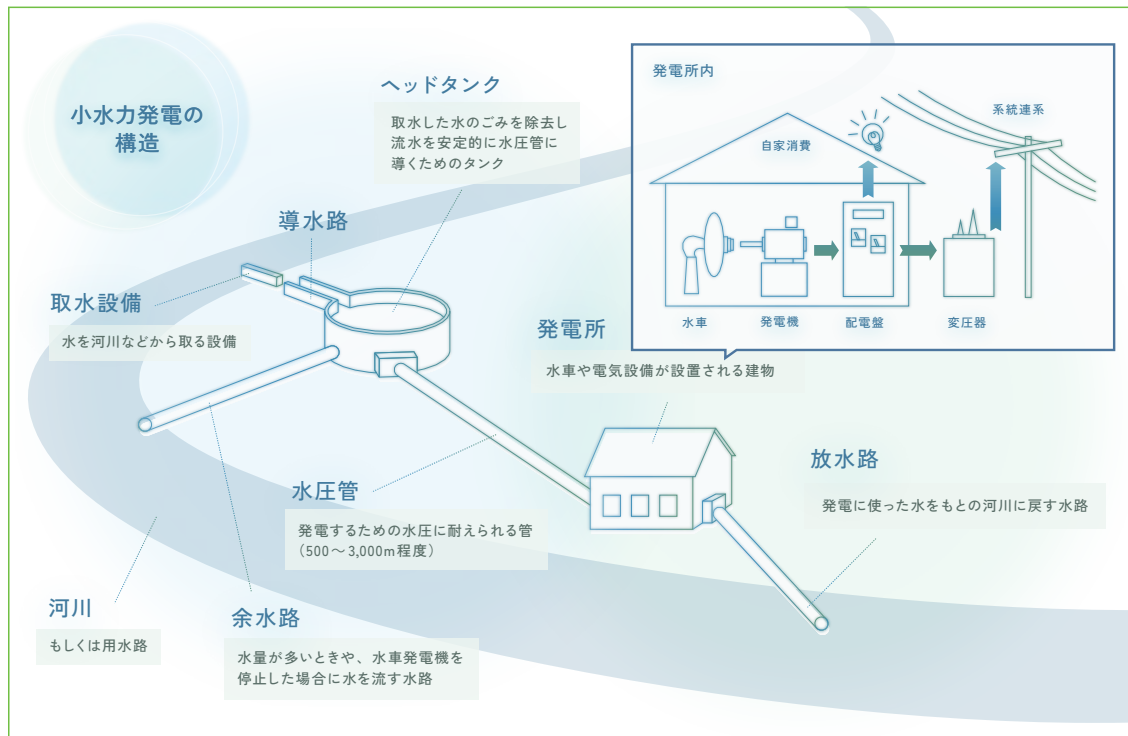
当行は地域課題解決のため、株式会社森とみずのちからと協業して、小水力発電事業の取組みを開始いたします。地域金融機関として、これまでの金融の枠組みを越えたサービスを提供するとともに、新たな地域価値の創造に取り組むことで、持続可能な地域社会の未来を創り、守り、支えてまいります。

小水力発電とは 自然の河川等を利用した環境に優しい再生可能エネルギー

ダムのような大規模開発を伴わず、自然の河川等を利用する環境負荷の低いクリーンな発電事業です。地域の河川を利用するため、地域に根差したエネルギーシステムと言えます。

特長

- 二酸化炭素を排出しない
- 昼夜問わず安定的に発電
- 長期的な稼働が可能



出展：株式会社森とみずのちからホームページ「Small hydropower 小水力発電とは」<https://tpfw.co.jp/small-hydropower/>
（参照日：2024年10月11日）

小水力発電事業に関する株式会社森とみずのちからとの協定

2024年5月、当行と株式会社森とみずのちからが双方のリソースを有効に活用し、鳥取県内での小水力発電の新規開発を連携・協力して推進する協定を締結しました。



地域の自然資本を活かした再生可能エネルギーの創出、循環により持続可能な地域社会の発展に貢献

会社概要 株式会社森とみずのちから

所在地 奈良県吉野郡下市町新住1118

代表者 代表取締役社長 貝本 隆三

設立 2022年12月16日

資本金 98百万円

事業内容 発電所の企画、可能性調査等

定格出力19.9kWの水車と発電機です。これで住宅約40軒分の発電量を生み出します！（森とみずのちから 井上氏）



定格出力19.9kWの水車と発電機



今回の協定を通じて鳥取銀行様と共に、地域に眠る水資源を価値化し持続可能なエネルギー社会の実現にむけて取り組めることを嬉しく思います。鳥取県内各地域の皆様にとっても、お役立ちできる発電所となるように力を合わせ、事業を推進してまいります。

株式会社森とみずのちから 代表取締役 貝本 隆三 様